2009年　垂水区学が丘南公園のセミのぬけがら調査（6・7地区）

月日	地区	クマ♂	クマ♀	アブラ♂	アブラ♀	ミンミン♂	ミンミン♀	ニイニイ♂	ニイニイ♀	ツクツク♂	ツクツク♀	ヒグラシ♂	ヒグラシ♀	不明	計
7/18	7	16	3	1											20
7/20	6	70	5	5											80
7/20	7	17	2												19
7/24	6	76	12	5	2	3	1								99
7/24	7	20	2	2		3									27
月日	地区	クマ♂	クマ♀	アブラ♂	アブラ♀	ミンミン♂	ミンミン♀	ニイニイ♂	ニイニイ♀	ツクツク♂	ツクツク♀	ヒグラシ♂	ヒグラシ♀	不明	計
8/5	7	25	60	8	4					1					98
8/6	6	29	90	16	32				1						168
月日	地区	クマ♂	クマ♀	アブラ♂	アブラ♀	ミンミン♂	ミンミン♀	ニイニイ♂	ニイニイ♀	ツクツク♂	ツクツク♀	ヒグラシ♂	ヒグラシ♀	不明	計
8/11	6	9	18	7	8		1		1						44
8/11	7	2	2		6		1				1				12
8/18	6	9	18	5	12									1	45
8/18	7	6	11	3	9						1				30
8/24	6	2	8	2	6						1				19
8/24	7	1	3	7	4										15
計	6	195	151	40	60	3	2	0	2	0	1	0	0	1	455
計	7	87	83	21	23	3	1	0	0	1	2	0	0	o	221

２００９年　調査メモ

7/15 晴れ　公園を地区割りするために樹木調査を兼ねて下調べに行く。＃1，2の樹木調査を終えた。
セミは声自体ほとんど聞かない。散歩中の人に聞くと「下の方にはいますよ」とのこと。＃8のサクラでやっとセミ殻を5個みつける。

7/18 曇り　樹木調査と平行して＃8からぬけがら調査も行うことにする。＃7の坂下に近づきケヤキが増えてくるとぬけがらがたくさん目につくようになる。＃6にケヤキが多く、
ぬけがらが非常にたくさんあることを確認した。日時を変えて調査にくることにする。＃8の広さ:about 25m　x　15m。

7/20　#10の樹木調査をしてから#8.7.6へと向かうことにする。樹木調査の最後でケヤキがありそこでぬけがらをゲット。それまでサクラも何本かあったのにぬけがらはゼロ。
#7,6のケヤキ林で大量のぬけがらをゲットした。しかしほとんどがクマでアブラやミンミンの鳴き声は聞くがぬけがらが少ない。ミンミンはぬけがら収穫ゼロ。
#7坂の下にあるアベリアの植え込みにもぬけがらが出ている。今後の調査地区は、＃6，7，8，10の4つとすることに決めた。

7/24　#6,7のケヤキ林では相変わらずクマのぬけがらを大量にゲットできたが#8,10では思ったほ
ど集まらない。＃7でもコナラやスダジイの所ではさっぱりである。成虫がとまっていたり、
鳴いていたり、樹下には穴があるのぬけがらがない。#10でもケヤキのところだけ、しかし
ここにはクマはいない。

8/5 晴れ　久しぶりの晴れである。1日夜半から降りだし2日の早朝は土砂降り、午前6時には明石が全国で一番降雨量が多かったとか。2日は9:00には大雨警報も解除され
それからは全く降らず、明石公園の観察会は予定通り行われた。観察会の後の反省会でセミの話が出て雌雄の見分け方につき兼光さんのやり方をみていて、
小生のやり方に瞬りがあるのではないかと思った。家に帰り調べなおしてみるとやはり間違っていた。すでに300近く袋分けも終えたのに仕方がない、全部やり直す
ことにした。3日ゴルフ、4日の雨を利用して大半をやり直した次第。
10:00から作業を始めた。＃8ではツツジの生け垣に立っているトウネズミモチの木にクマゼミが群がっている。トウネズミモチではぬけがらなんぞ1個も見ないが
これはどうしたことか？下にも穴はない。殻を脱ぐ木とランデブーの木は違うと言うことか。そういえば家のオマツにはセミがいつも来てうるさく鳴いているがぬけがらは
見たことがない。今日はサクラにもぬけがらはない。
ツツジの生け垣の下にあるマテバシイに小さなぬけがらを見つけた。何だ？かなりの径の幹にちょこっとしがみついている感じ。泥は雨に流されきれいなニイニイだ。
本部へぬけがらを送るとき念のため下記のメモをつけておいた。
2009年8月5日　＃8　ニイニイゼミ（？）について
見つけた場所:マテバシイの樹幹、地上1．5㍍。泥はまったくついていない。2日早朝は豪雨で樹下
一帯は相当な流れがあった跡がある。（3／4日は晴れ）。
ニイニイと思っていますが鑑定よろしくお願いいたします。

＃7のヤブツバキの葉先でアブラとツクツクのぬけがらを見つけた。
ニイニイやツクツクが出てくるとやる気が出るというか調査していても次は何かなという期待感があっておもしろくなってくる。

8/6 晴れ　9:45，＃10からスタート。ここは前からアブラの多いところ、ケヤキ、コナラの周囲にたくさん落ちている。ツツジの植え込みがありそこで殻を脱いだのか周囲にかなりの
アブラが落ちて流れている。　＃6のケヤキの下にニイニイが落ちているのを見つけた。この2日間でぬけがらに大きな変化が現れている。
①雌雄が逆転した。♂が減り♀が大幅増となっている。
②アブラの数が増えてきている。
③クマ／アブラ以外のセミも目につくようになった。

8/11 曇り、時々雨　＃8では収穫無し。　＃7．先日のヤブツバキにツクツクの♀がいた。＃6．一番端のケヤキの大木の下にニイニイが落ちていた。そばに小さな流れがあって泥状の
地形あり。　＃10では地区の上方小さな広場のそば、マテバシイの奥のサクラにアブラがたくさん殻を脱いでいるようだ。木にもあるし周囲にも落下している。その下側の
スダジイに囲まれた落ち葉堆積地にアブラが2個おちていた。？？？スダジイにもぬけがらがあるのだろうか？　水に流されてくるような場所ではない。不思議である。

8/14 晴れ　垂水浜でツクツクの鳴くのを聞く。セミの鳴く声は多いがぬけがらは少ない。アメリカデイゴにクマが2個、パペの樹下にアブラ♀が1個。センダンに沢山のクマが集まっていた。

8/15 曇り　自宅庭付近でツクツクの鳴くのを聞く。
8/18 晴れ　＃6:10:05スタート、ツクツクの鳴き声。公園全体のセミの鳴き声は心なしか騒がしさが減っている。木についているぬけがらは少なくほとんどが落ちているセミ殻を拾った。
＃7:前と同じヤブツバキでツクツクをゲット。その近くのスダジイで初めて葉裏についているクマとアブラのぬけがらを計5個ゲット。
＃8:ぬけがらはぐっと減る。百北角のスダジイで葉裏からクマを2個アブラ1個をゲット。先日までランデブーの場所になっていたトウネズミモチには一匹も止まっていない。
＃10:アブラがほとんどだがここも落下のぬけがら拾いがほとんど。数量は増えているのではないか。ここで妙なものを拾った。アブラが半分だけ出かかってこれからイナバウワー
に入るところで息絶えているものだ。蛹より先に小生が見つけたと言うところか、傷んでいない。全体にツクツクの鳴き声がよく聞こえていたように感じた。

8/24 晴れ　＃8:10:00スタート。クマゼミが鳴いているが音量が減っているのが歴然としている。着いてすぐに真ん中のコナラの葉裏にセミ殻をみつけ、落ちていた枝を使って落としたが
枝先が頭に触れたか割れて半分飛んでしまい下半身が見つからない。アブラであることは推測できるが雌雄の判別も覚かないので放棄。また北端のスダジイでも葉裏のセミ殻
を落とすときに同様なことが起こった。雨が降らなかったせいで殻が乾燥しているのか、それとも全体に小振りな殻が増えていることからみて、セミ自体が盆前に出てくるヤツより
生命力がないのか殻にも力がないようだ。
10:15頃、ツクツクが鳴き出す。公園全体でもその後はツクツクの鳴き声が優勢。
＃7:いつものヤブツバキではアブラを1個ゲットしたのみ、ツクツクはなし。アベリアでもアブラを1個見つけただけ。ケヤキついていたクマの殻なんて今は昔の物語。
＃6:北端キンモクセイの葉裏にツクツク。後は殆ど収穫無し。ケヤキ周りに落ちているアブラをセミの下にはどこにも殻はなく、触らずに見ていたが飛べるようにも見えない。
どうやってここに来たのだろう？頭部と背中はまだ薄青い。羽は透き通っていて付け根の近くには茶色の斑点模様がある。全く動かないので蹲のケヤキｻｰｸﾙで調査をしていたら
突如大きなミンミンの鳴き声がするのでみるとヤツが尻を震わせて鳴いている。そばに寄ってもまだ飛べず、しばらく鳴いているのを見ていたらやがて飛び立った。
＃10:ツツジの植え込み周辺にアブラが落ちており、葉裏に着いているのも2個あった。上部のサクラ周辺で落下しているのが少量あっただけで前回の収集量がウソみたい。

〈気づきと疑問〉　①　木の周囲に穴が沢山あいているからと言ってその木にセミ殻が多いとは限らない。
どうも穴から出てすぐにそばの木に登っているわけではないようだ。　→　（NHLKの「夏休み子供
電話相談室」で、ぐんま昆虫の森の矢島園長が、セミは穴から出て自分が殻を脱ぐ木を探すのに
人間がびっくりするほど歩き回ると答えていたので納得。）
②　雌雄が一緒に沢山集まる木がある。その木では集まっているのに鳴かない。またセミ殻も
見ない。偶々だろうか？　何故？　（公園では＃8のトウネズミモチ、垂水浜ではセンダン）
③　ケヤキやサクラでもセミ殻の多い木もあれば全く見かけない木もある。植栽木なので樹齢は
ほぼ一緒なのに何故？　また、常緑樹ではスダジイ、クスノキ、トウネズミモチは殆どゼロなのに
ヤブツバキにはセミ殻がある。（特に今回ツクツクは全部ヤブツバキで見つけた）

セミの抜け殻調査報告書2010（6，7，8，10地区　合計）

調査者(団体)名:　八巻　晴郎　（やまき　ごろう）　　担当:

連　絡　先　:　(住所・TEL)

(メールアドレス)

調査実施場所:　神戸市垂水区学が丘南公園

住所:　神戸市垂水区学が丘1丁目

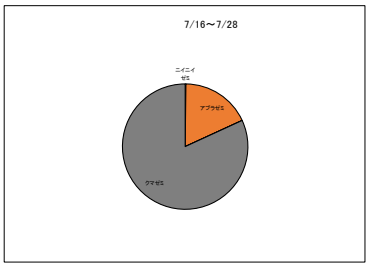
調査場所の環境:

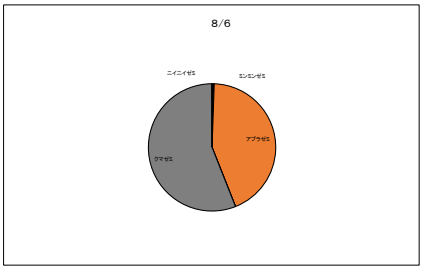
	クリックして選択
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉

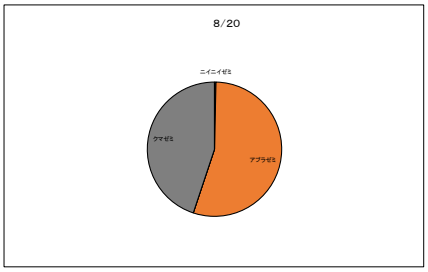
主な植生:　ケヤキ、コナラ、スダジイ、サクラ、エノキ、クスノキ、ヤブツバキ、シナサワグルミ、トウネズミモチ、マテバシイ

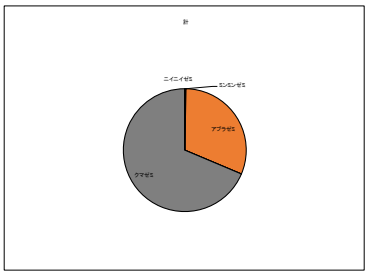
調査結果:　　部分は自動計算されますので入力しないでください。　　ニイニイゼミの♂♀個別は不要(任意で入力できます)

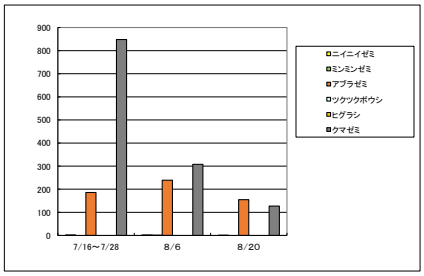
調査日	7/16～7/28					8/6					8/20					計			
調査時間	：　～　：					10：00　～　13：30					9：30　～　12：55								
調査参加人数																			
天気																			
	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	♂	♀	不明	計
ニイニイゼミ		1	1		2		1	1		2			1		1	2	3	0	5
ミンミンゼミ					0			1		1	○				0	0	1	0	1
アブラゼミ	○	134	52		186	○	105	134		239	○	52	103		155	291	289	0	580
ツクツクボウシ					0					0	○				0	0	0	0	0
ヒグラシ					0					0					0	0	0	0	0
クマゼミ	○	540	308		848	○	90	218		308	○	48	79		127	678	605	0	1283
					0					0					0	0	0	0	0
					0					0					0	0	0	0	0
不明					0					0					0	0	0	0	0
計		675	361	0	1036		196	354	0	550		100	183	0	283	971	898	0	1869

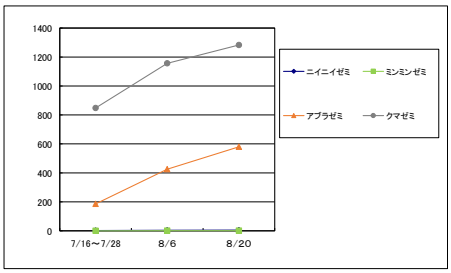












垂水区学が丘南公園のセミのぬけがら調査

地区別数量

月日	地区	クマ♂	クマ♀	アブラ♂	アブラ♀	ミンミン♂	ミンミン♀	ニイニイ♂	ニイニイ♀	不明	計
7/16	6	1									1
7/16	8	1		1							2
7/16	10			1							1
7/17	6	2									2
7/17	7			1							1
7/17	8			1	1						2
7/22	6	135	7	25	2				1		170
7/22	7	6	2	8							16
7/22	8	4	6	5							15
7/22	10	1		2				1			4
7/28	6	350	259	47	29						685
7/28	7	27	29	11	3						70
7/28	8	13	6	12	8						39
7/28	10	1	1	21	5						28
8/6	6	70	188	42	75			1	1		377
8/6	7	16	21	3	4		1				45
8/6	8	2	4	5	13						24
8/6	10	3	4	55	42						104
8/20	6	37	60	22	41				1		161
8/20	7	11	16	4	11						42
8/20	8		3	1	5						9
8/20	10			25	46						71

6地区合計	1396
7地区合計	174
8地区合計	91
10地区合計	208
総合計	1869

2010セミの抜け殻集めメモ　　八巻　晴郎

7/16(金)　晴れ　11:05セミの抜け殻探しを開始。鳴き声無し。#8:サクラ、アキニレでクマ♂を各1ゲット。
#6:幼児連れの若オバサンのグループが読きナスバーベキューをやっていてそのうちの一人が自然観察をやっているらしく「何の調査？」と聞いてきた。ケヤキの林群もセミの影はない。
地面に穴が見あたらないことからまだ出てきていないと思われる。
#10:ケヤキにクマ♂x1を見つける。この木には去年もたくさんの殻が付いていた。昼近くまでいたが鳴き声はなし。

7/17(土)　快晴　8:45到着。#8:サクラとエノキでクマ♂♀各1をゲット。10時頃かすかにセミの鳴き声を聞くもクマかミンミンか不明のうちに声は消えてしまった。#7:ツバキでクマ♂を見つける。
#6:穴を2～3個見つけたが殻はクマ♂x2のみ。10:20頃鳴き声をが聞こえたがすぐにやむ。
10:25クマが鳴き出したが長くは続かず。#10:ゼロ。

7/22(木)　快晴　11:20到着、作業開始。クマゼミがあちこちで鳴いている。いよいよの予感。
#8:アキニレの下、遊歩道沿いのシャリンバイに5個のぬけ殻。去年はアキニレに付いていたが今年はアキニレには見えずその下のシャリンバイで殻を脱いでいる。
＃7:ここにはヤブツバキあり去年ツクツクをがゲットしているが今年はまだ。代わりにクマをゲット。坂の上部はスダジイ、コナラが多いのであまり期待できないが坂を下り#6に近づくと
ケヤキがあるので殻も増えてくるエリア。ロータリー手前のハナゾノツクバネウツギに殻が沢山見えてきた。ケヤキの大木にも付いている。
#6:去年に比べ小さな殻が多くアブラからなあ、それにしては多いなと感じていたが家でチェックすると小形ながら午前中のは全部クマであった。こんなに小さいのに♀もいて
ちょっと違和感。また殻の付いている場所が幹の下部分が結構多いのも去年とは異なる。
キンモクセイ、ツバキにもクマ、アブラが付いていてツクツクの姿はまだ見えない。
ケヤキの幹の根元に近い部分にしがみついているニイニイの殻を発見、ゲット。小さな方の箱が一杯になり、時刻も12:35となったので一旦打ち切り、昼食のため家に戻ることにした。
14:07午後の部を開始する。ケヤキ林も殻のついている木は沢山付いているが付いていない木はどうして？と思う位殻は付いていない。去年沢山の殻が付いていた数本に
マザーツリーと勝手に名を付けて目印にしていたが今年は去年ほど付いていない。これから付くのかな。
#10:アブラの殻を期待できるケヤキでは収穫なし、すぐ上のツツジの生け垣にコガタスズメバチの営巣を発見。長い枝の先で巣をつついて穴を開けると出てきた出てきた、すぐに
穴の修理にかかって蓋をしてしまいみんな中へ入ってしまった。まだ巣を作っている最中で忙しいのか外敵探しをする様子はなかった。
サクラの根元でニイニイを発見。ここは腐葉土が多いのでニイニイには適地かもしれない。

7/28(水)　晴れ　10:10到着、作業開始。
#8:コーナーのスダジイで11個をゲット(スダジイでこんなに殻があったのは初めて。ビックリだ。
サクラはほとんどゼロの状態、これまたビックリ。エノキ、アキニレとその下のトベラの生け垣、コナラ、そして先ほどのスダジイ1本に集中している。
#7:ヤブツバキではクマ、アブラのみをゲット。下のロータリーにかかるハナゾノツクバネウツギ(アベリア)でかなりの収穫。
#6:ロータリー近辺に星陵台児童館の待機児童の集団が来ていて、その中の数人がセミ殻集めに興味を持ち協力をしてくれた。そのお陰でケヤキ林での作業は大いにはかどった。
それでも大量のクマの殻を集めるのには彼らが帰ってからさらに1時間を要した。
#10:ケヤキとコナラにアブラの殻が多数。このコナラは樹高が高いので落下物しかゲットできない。
上の方のスダジイの根元でもアブラを拾う等アブラエリアの面目躍如。
13:30終了して高丸インターでたところの「さぬき」で久方ぶりにカツ玉定食を食う。うまい。

8/2(月)　晴れ　大甲山案内人の会がやっている「セミ殻集め」に参加。
10:00阪神御影集合。久保紘一さんが主宰、吉野、中塚がメンバー。本日はこの3人に長谷川、八巻　が加わった。
処女(オトメ)塚:クマのオンパレード。30分もしないのに相当な数量が集まった。去年は3回やってもこれだけの数値にはならなかった由。
楽天橋付近:午前中とは大違い。クマは全く姿を消してニイニイ、ヒグラシ、アブラが中心。
数の方もぐっと減る。木々の葉裏を丁寧に見ながらササやクサにも気を配る。まさにセミ殻を採集するという感じ。

8/5(木)　快晴　一昨日の夕立以来少し涼しくなったが今日は風が涼しい。
14:15頃、自宅にてセミ殻の整理中に庭でツクツクのヘタな鳴き声がするのを聞いた。

8/6(金)　晴れ　#8に9:38到着、自転車を止めて下を見ると何とセミの幼虫が歩いているではないか。
今頃から脱皮するのか？　とりあえず行動を見つめる。草をかき分けかき分けしながらの歩行放遅い。コナラに到着するまで相当かかる見込み。20分くらい見ていたがコナラへの
道はまだ遠しなので摘んで幹に付けてやった。発見場所から1.8m位のところだ。少し登り止まる。また登る、ゆっくりゆっくりだ。10:12また止まる。1.6m位の高さ。
(写真)こちらは今日中に#10まで収集作業を終えねばならないのでこれ以上つきあえない。ときどき戻って見ることにする。#8はアブラ多し、スダジイにも付いている。(スダジイ
の場合、幹にはゼロ、葉裏それも枝先の葉裏のみ)。気が付いてコナラに戻ってみると幼虫はどこかに行って見つからない。
落ちたか、どこかの枝の葉裏にくっつけたのか不明だが上手く脱皮できることを祈る。
#7:ツクツクを期待してヤブツバキの葉裏を丁寧に見るがゼロ。
#6:アブラが目立ってきた。ニイニイを2個ゲット。7/28よりは大幅に減っているがそれでも一人で集めるのには多すぎる。
#10:コナラの下にアブラがたくさん落ちているのが目に付く。コガタスズメバチが営巣に余念無く忙しく働いているので注意しながらまわりに落下しているアブラの殻を集めた。

8/17(火)　晴れ　大甲山自然案内人の会の「セミ殻集め」:久保、栃尾、吉野、中塚、寺田、八巻
処女(オトメ)塚:相変わらずクマが多い。近所のオバサンが何と！「掃除しときました」との挨拶、参った参った、それでもクマ♂160・♀170を拾う。アブラは♂ゼロ♀1という有様。
楽天橋付近:木陰の中での作業なので暑いといってもしれたもの。ニイニイ2、アブラ♂1・♀5、ヒグラシ♂5・♀4。数は少ないが種類が多く発見場所が多岐に渡るので探していて
もおもしろい。

8/20(金)　晴れ　9:30到着、開始。
#8:鳴き声の騒々しさが少ない。誰かが収集に来たのではないか、ほとんど殻がない。
コーナーのスダジイに少々。落下殻が見あたらない。
#7:コナラ林には落下殻多し。アベリアは樹上、葉裏とあるが少ない。マザーツリーにしているケヤキにアブラが管を突き立てて樹液を吸っている。(写真)。10:40ツクツクを聞く、初めてだ。
#6:激減。樹に付いているのはほとんどない。落下殻を丹念に拾っていく。草や木の根元にガンジキで掻いたような跡が見られる。お盆休みもあったころだしやむを得ないか。
#10:ケヤキは何故かゼロ。コナラからの落下殻は相変わらず多い。コガタスズメバチの巣は出来上がった模様、見張りが一匹出て入口に張り付いている。時々2匹目が出てきて
なにやら打ち合わせているようだ。(写真)
上のツツジの生け垣のコーナーにアブラの殻が集まっているのを見つけた。
終了12:55。これで本年度の調査を終わった。

8/31(火)　晴れ　大甲山自然案内人の会の「セミ殻集め」:久保、栃尾、吉野、中塚、寺田、長谷川、八巻
処女(オトメ)塚:生け垣に剪定の跡、地面に掃除の跡あり。20分ほどでクマばかり110個ほど集める。ここはクマばかりで他のセミの鳴き声もない。

楽天橋付近:前回同様、橋の脇で弁当を食べる。橋の下で野生化したようなサルビアが大きな葉と赤い花を誇示している、近くの民家から種が流出して成育しているらしい。

昼食を摂っている最中でもツクツクとミンミンがさかんに鳴いている。
今日は最後なので、「一木一草おろそかにするものか」の意気込みでシダやササの裏まで丹念に見ながらゆっくりと進んでいく。高さ20cmにも満たない実生の樹の葉裏に
ツクツクの殻があるのを久保さんが見つけ全員一段と熱を帯びてくる。
小生もシダの葉裏でヒグラシを2個ゲットしてにんまり。みんなの執念か、ミンミン♂3／♀2，ツクツク♂2／♀3，ヒグラシ♂6／♀3が集まった。時期的なことを考えると上々の
数量である。
終了後、久保さんの奥さんがアイスやジュース、ビールを買い込み川筋を登ってこられ、一同大いに恐縮しながらも遠慮無くいただいた。中塚さんから来年は子供(児童)を
対象にセミ殻集めで遊ぶ会のようなものを催すことの提案があり、グリーンサポートをやっている会員にも話を持ちかけて7月下旬にでも開催する方向で案を練ることになった。

セミの抜け殻調査報告書2011　（6地区）

■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

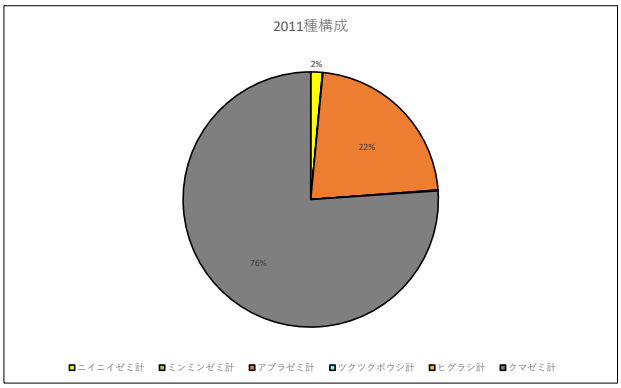
年度	2011
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	6地区
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	_

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ｴﾉｷ、ｺﾅﾗ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　中学生　　小学生　　幼児

ニイニイゼミ計	28
ミンミンゼミ計	1
アブラゼミ計	423
ツクツクボウシ計	2
ヒグラシ計	0
クマゼミ計	1444
（自由入力）	0
総計	1898

種	♂♀	7/12	7/17	7/20	7/23	7/28	8/6	8/15	8/23	計
ニイニイゼミ	不明	0	5	0	2	12	8	0	1	28
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	5	0	2	12	8	0	1	28
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	1	0	0	0	0	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	3	19	20	35	56	42	19	11	205
アブラゼミ	♀	0	0	5	10	45	76	59	23	218
アブラゼミ	計	3	19	25	45	101	118	78	34	423
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	2	0	2
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	2	0	2
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	20	128	202	258	38	43	17	706
クマゼミ	♀	0	0	11	79	355	165	95	33	738
クマゼミ	計	0	20	139	281	613	203	138	50	1,444
（自由入力）	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	44	165	328	726	329	218	85	1,898



セミの抜け殻調査報告書2011（7地区）

■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

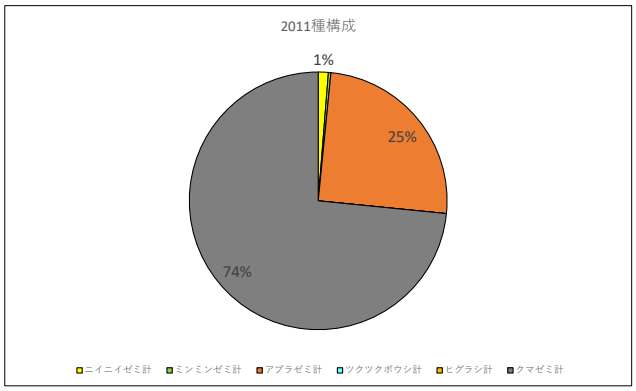
年度	2011
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	7地区
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ｴﾉｷ、ｽﾀﾞｼﾞｲ、ｱﾍﾞﾘｱ、ｺﾅﾗ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　中学生　　小学生　　幼児

ニイニイゼミ計	4
ミンミンゼミ計	1
アブラゼミ計	79
ツクツクボウシ計	0
ヒグラシ計	0
クマゼミ計	232
（自由入力）	
総計	316

種	♂♀	7/17	7/20	7/23	7/28	8/6	8/15	8/23	計
ニイニイゼミ	不明	1	0	2	0	1	0	0	4
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	1	0	2	0	1	0	0	4
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	1	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	1	0	1
アブラゼミ	不明	0	3	0	0	0	0	0	3
アブラゼミ	♂	0	0	8	15	10	8	2	43
アブラゼミ	♀	0	0	2	8	12	9	2	33
アブラゼミ	計	0	3	10	23	22	17	4	79
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	8	38	39	14	8	3	110
クマゼミ	♀	0	0	9	55	36	16	6	122
クマゼミ	計	0	8	47	94	50	24	9	232
（自由入力）	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	11	59	117	73	42	13	316



セミの抜け殻調査報告書2012（6地区）

■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2012
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	６地区
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

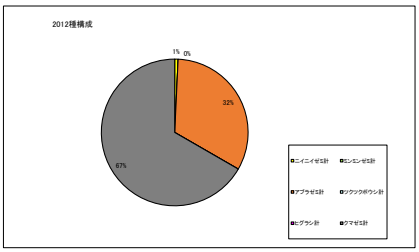
主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

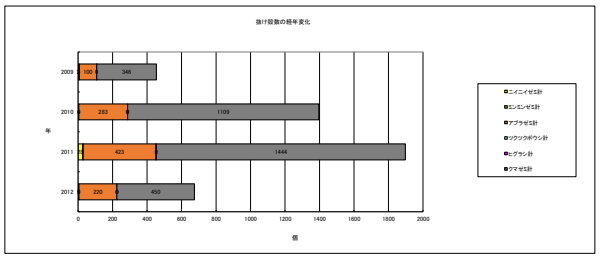
調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ｴﾉｷ、ｺﾅﾗ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ｷﾝﾓｸｾｲ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 1　中学生　小学生　幼児

種	♂♀	7/25	7/28	8/4	8/9	8/15	8/20	8/30	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	5
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	5
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
アブラゼミ	♂	18	21	26	14	11	7	10	0	0	0	107
アブラゼミ	♀	7	0	25	19	25	21	15	0	0	0	112
アブラゼミ	計	25	21	51	33	37	28	25	0	0	0	220
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
クマゼミ	♂	84	77	45	18	13	11	7	0	0	0	255
クマゼミ	♀	9	29	103	25	13	5	8	0	0	0	192
クマゼミ	計	93	107	148	44	26	17	15	0	0	0	450
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	121	128	199	78	63	45	41	0	0	0	675

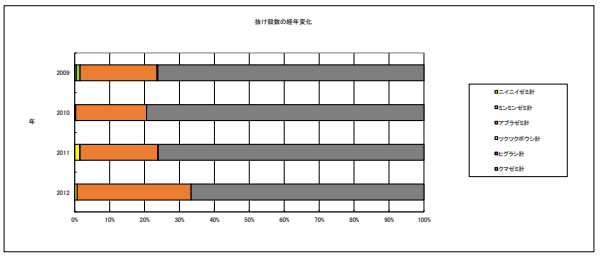
	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	5	28	4	2
ミンミンゼミ計	0	1	0	5
アブラゼミ計	220	423	283	100
ツクツクボウシ計	0	2	0	1
ヒグラシ計	0	0	0	0
クマゼミ計	450	1444	1109	346
(自由入力)	0	0	0	0
総計	675	1898	1396	454

総計に自由入力は含まれていません
自由入力に入力した場合には
グラフのデータ範囲を修正してください。





コメント：(改行：ALT+ENTER)
昨年、一昨年に比べて激減。先行者がいた跡もあるがそれよりもセミが出てきた穴の数が
驚くほど少ない。これは公園全体にいえることで4～5年ほど前になにかあったのだろうか。
公園内の歩道整備でもやったのかもしれない。現に今年の春先に鉄柵工事をした周辺(7・8地区)
の低木（アベリア、シャリンバイ）には、これまでたくさんのクマ・アブラの殻があったのに今年は全く
と言っていいほど付いていなかった。
さらに今年の特徴は、殻が総じて小さく、付いている箇所が低いところが多かった。
クマゼミについて言えば、8/15以降はほとんど落下殻。アブラゼミは15日以降も羽化していたが
ほとんどが地上60cmまで。
8/9にはツクツクボウシが鳴いており、その後、声の勢いは大きくなるばかりだったが殻はゼロ。
地域外の樹木、生垣も調べてみたが全く見つけることが出来なかったのが残念。



セミの抜け殻調査報告書2012（7地区）

部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2012
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	7地区
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

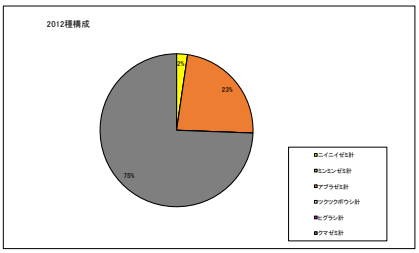
主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

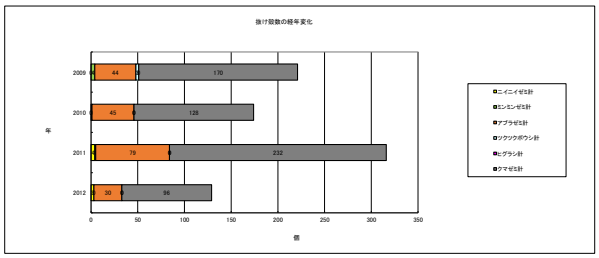
調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ｴﾉｷ、ｺﾅﾗ、ｽﾀﾞｼﾞｲ、ｱﾍﾞﾘｱ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 1　中学生　小学生　幼児

種	♂♀	7/28	8/4	8/9	8/15	8/20	8/30	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	2	5	2	3	1	3	0	0	0	0	16
アブラゼミ	♀	1	5	3	1	3	1	0	0	0	0	14
アブラゼミ	計	3	10	5	4	4	4	0	0	0	0	30
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
クマゼミ	♂	20	21	5	3	2	3	0	0	0	0	54
クマゼミ	♀	7	23	6	2	1	2	0	0	0	0	41
クマゼミ	計	27	44	11	5	4	5	0	0	0	0	96
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	33	54	16	9	8	9	0	0	0	0	129

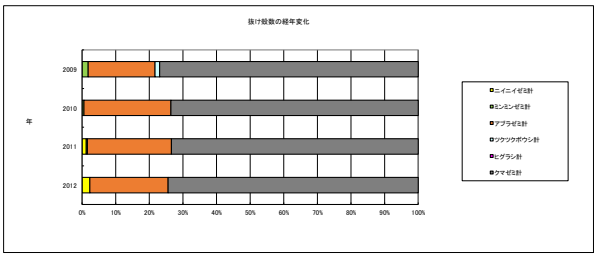
	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	3	4	0	0
ミンミンゼミ計	0	1	1	4
アブラゼミ計	30	79	45	44
ツクツクボウシ計	0	0	0	3
ヒグラシ計	0	0	0	0
クマゼミ計	96	232	128	170
(自由入力)	0	0	0	0
総計	129	316	174	221

総計に自由入力は含まれていません
自由入力に入力した場合には
グラフのデータ範囲を修正してください。





コメント：(改行：ALT+ENTER)
以前ツクツクがいたヤブツバキは剪定されて以来アブラが少々付く程度になってしまったが
今年はそれもなく盆過ぎにはチャドクガが付く始末。

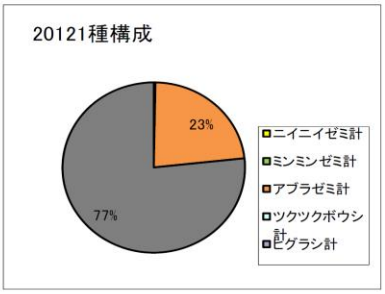


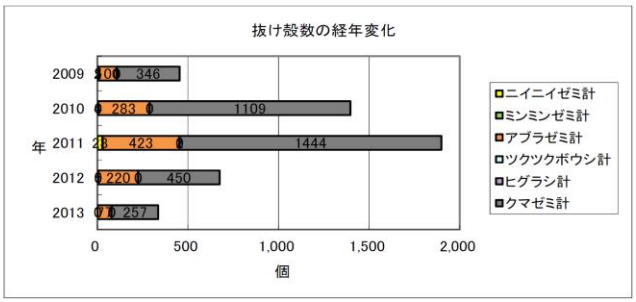
セミの抜け殻調査報告書2013

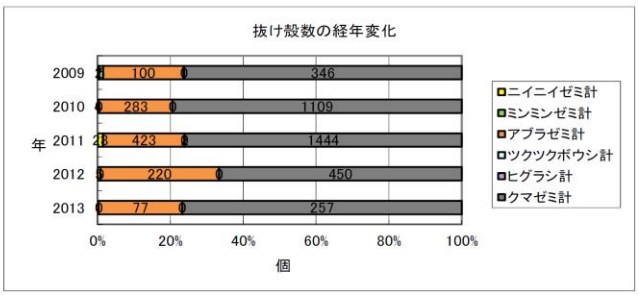
年度	2013
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	6地区A
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ｷﾝﾓｸｾｲ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/27	8/3	8/13	8/17	計
ニイニイゼミ	不明	1	0	0	0	1
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	1	0	0	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	1	1
アブラゼミ	♂	19	16	6	3	44
アブラゼミ	♀	10	14	5	3	32
アブラゼミ	計	29	30	11	7	77
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	2	2	0	0	4
クマゼミ	♂	107	27	2	0	136
クマゼミ	♀	62	50	3	2	117
クマゼミ	計	171	79	5	2	257
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0
	合計	201	109	16	9	335







	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	1	5	28	4	2
ミンミンゼミ計	0	0	1	0	5
アブラゼミ計	77	220	423	283	100
ツクツクボウシ	0	0	2	0	1
ヒグラシ計	0	0	0	0	0
クマゼミ計	257	450	1444	1109	346
(自由入力)	0	0	0	0	0
総計	335	675	1898	1396	454

コメント:
#6地区は広すぎるので、今年から4分割してA地区のみを調査対象とすることにした。また＃7地区も調査区域からはずした。
お盆に入ってからは帰省客が子ども連れで殻集めをやったためか当方が収集出来た数は急激に減った。
ミンミンは8/3、ツクツクボウシは8/13から鳴き始めたが殻は全く見つからない。
ツクツクボウシは9/8になってもますます盛んに鳴いているが殻を見つけることは出来なかった。

分析者(小久保)コメント
4分割したとのことで、昨年から数が減っているるのはそれが理由であれば、昨年との比較は意味がありませんね。
今後は今回決めた調査対象での継続をお願いします。

セミの抜け殻調査報告書2014（6地区A）

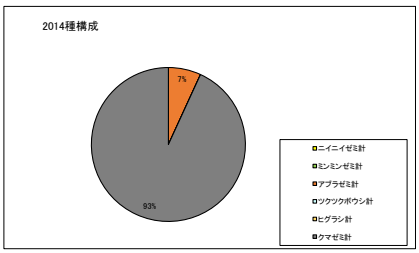
■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

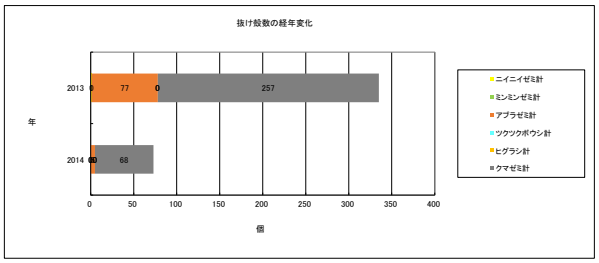
列や行は削除はしないでください。

年度	2014
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	6地区A
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

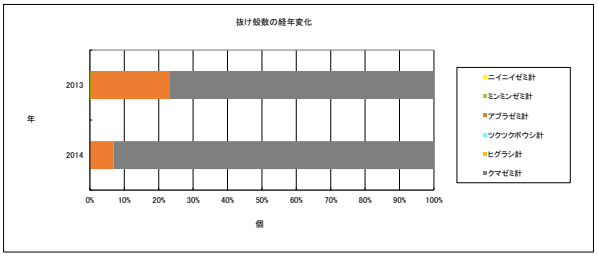
調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ｷﾝﾓｸｾｲ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/29	8/7	8/21	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	1	1	0	2
アブラゼミ	♀	3	0	0	3
アブラゼミ	計	4	1	0	5
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	21	11	3	35
クマゼミ	♀	24	8	1	33
クマゼミ	計	45	19	4	68
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
	合計	49	20	4	73





	2014	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	0	1				
ミンミンゼミ計	0	0				
アブラゼミ計	5	77				
ツクツクボウシ計	0	0				
ヒグラシ計	0	0				
クマゼミ計	68	257				
(自由入力)	0	0				
総計	73	335	0	0	0	0



コメント：(改行：ALT+ENTER)
7/29：声は豪しいが抜け殻はすくない。落下している抜け殻はまだほとんどない。
8/7：台風前の晴れ間か？青空が見えたりする。この時期なのにクマはまだ♂ガ多い、しかし数が
少なすぎる。どういうわけか樹の下部(元部)の方に止まって、鳴きもせずじっとしている成虫が多い。
雨のせいで翅の乾きがおそいのだろうか？
8/21：暑い！だがｾﾐの鳴き声に隙間がある感じで迫力がない。公園のいたるところに枝が散乱して
おり、樹の幹や葉についているセミ殻は全くない。大雨と強風で全部落とされたようだ。落下している殻を拾って10分で終了。

今年の夏は気象変動に振り回されて、抜け殻集めは散々であった。セミも地中から出ようと出られずずいぶんと迷って元の穴に戻ってしまったのが多いのではないだろうか。
来年はダンゴになって出てくるのを期待したい。

セミの抜け殻調査報告書2015（6地区A）

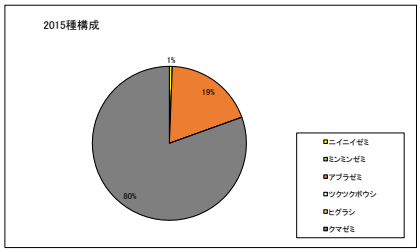
■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

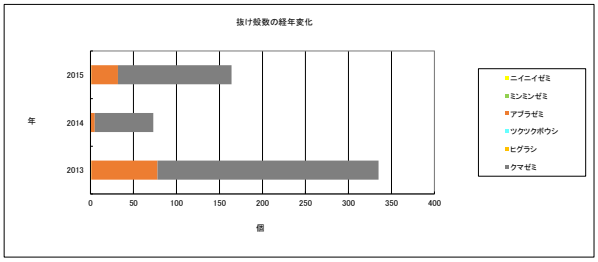
列や行は削除はしないでください。

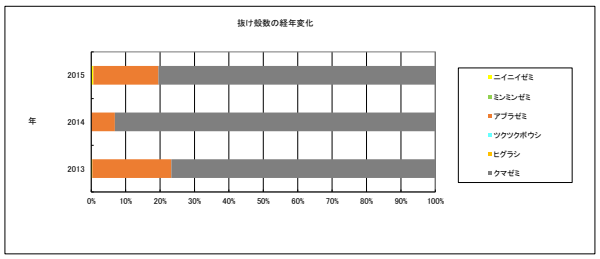
年度	2015
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	６地区A
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾌｸﾌｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ヤブツバキ、ｷﾝﾓｸｾｲ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/27	8/8	8/20	計
ニイニイゼミ	不明	1	0	0	1
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	1	0	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	5	10	0	15
アブラゼミ	♀	4	11	1	16
アブラゼミ	計	9	21	1	31
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	44	19	6	69
クマゼミ	♀	18	34	11	63
クマゼミ	計	62	53	17	132
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
	合計	72	74	18	164







集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
ニイニイゼミ					1	0	1
ミンミンゼミ					0	0	0
アブラゼミ					77	5	31
ツクツクボウシ					0	0	0
ヒグラシ					0	0	0
クマゼミ					257	68	132
(自由入力)					0	0	0
総計	0	0	0	0	335	73	164

コメント：(改行：ALT+ENTER)
公園全体が荒れておりセミの数が全体的に見て減っているように感じる。
クマゼミの抜け殻が以前に比べると減っているように見えるのは以前の数があまりにも
多すぎたせいかもしれない。（この地区はｹﾔｷの植栽が多くそれらの根に付いてきたと思われる
クマゼミたちが一大勢力を誇っている。地区面積が広いので2013年に調査場所を1/4位に限定・
縮小した。）
７月末の天候が昨年とは違い夏らしくかんかん照りが続いたので順調に羽化したようである。

セミの抜け殻調査報告書2017（6地区A）

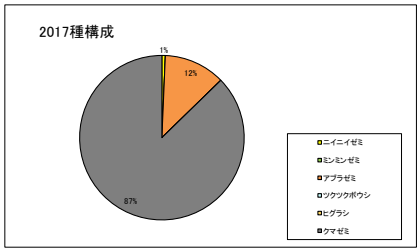
■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

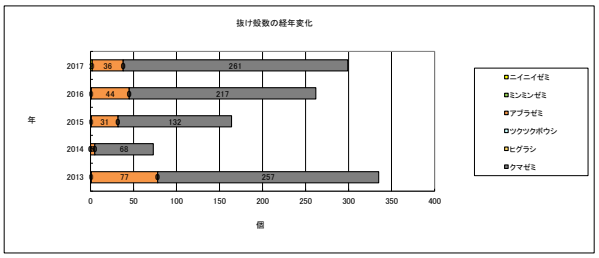
列や行は削除はしないでください。

年度	2017
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	６地区Ａ
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ｷﾝﾓｸｾｲ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　中学生　小学生　幼児

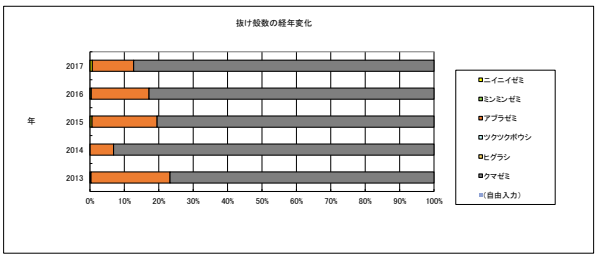
種	♂♀	7/25	8/5	8/13	8/26	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	2	0	0	0	0	0	2
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	2	0	0	0	0	0	2
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	9	5	4	2	0	0	20
アブラゼミ	♀	1	7	8	0	0	0	16
アブラゼミ	計	10	12	12	2	0	0	36
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	89	33	14	1	0	0	137
クマゼミ	♀	41	56	24	3	0	0	124
クマゼミ	計	130	89	38	4	0	0	261
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0
	合計	142	101	50	6	0	0	299





集計表

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ニイニイゼミ	0	0	0	1	0	1	1	2
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	0	0	0	77	5	31	44	36
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	257	68	132	217	261
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	0	335	73	164	262	299



コメント：(改行：ALT+ENTER)
公園内でもクマゼミが多いエリアの中の一地区。ミンミン、ツクツクの鳴き声も多いが抜け殻はない。

セミの抜け殻調査報告書2018（6地区A）

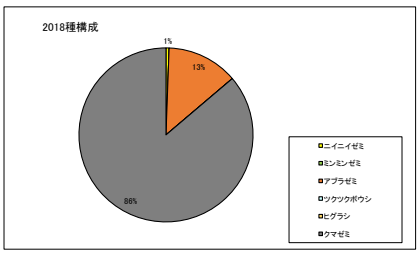
■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

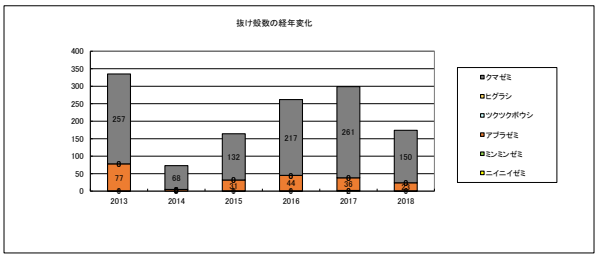
列や行は削除はしないでください。

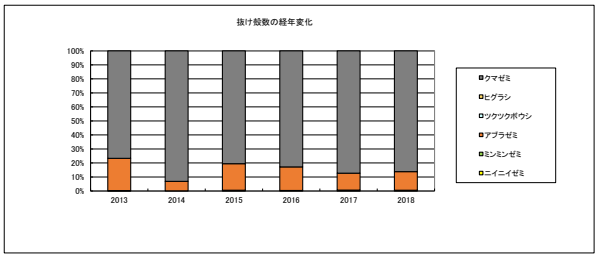
年度	2018
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市垂水区学が丘南公園
サイト名	６地区Ａ
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	八巻　晤郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｹﾔｷ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ｷﾝﾓｸｾｲ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　中学生　小学生　幼児

種	♂♀	7/28	8/4	8/14	計
ニイニイゼミ	不明	1	0	0	1
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	1	0	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	8	4	1	13
アブラゼミ	♀	5	4	1	10
アブラゼミ	計	13	8	2	23
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	38	21	6	65
クマゼミ	♀	48	20	17	85
クマゼミ	計	86	41	23	150
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
	合計	100	49	25	174







集計表

	2013	2014	2015	2016	2017	2018
ニイニイゼミ	1	0	1	1	2	1
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	77	5	31	44	36	23
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	257	68	132	217	261	150
(自由入力)	0	0	0	0	0	0
総計	335	73	164	262	299	174

コメント：(改行：ALT+ENTER)
７/２８：羽化の最盛期というのに鳴き声に迫力がない。
さらに驚いたことにツクツクボウシが鳴いている。
羽化失敗のクマゼミが３個体。
８/４：ツクツクボウシの鳴き声が大きくクマゼミの声がかすむほど。抜け殻があるはずなので
ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ｷﾝﾓｸｾｲ さらに足元の草々も丹念に調べたが見当たらない。調査からはずしている
地区で羽化しているようだ。
８/１４：抜け殻はほとんど木から落下したもの、他の地区も幹や枝葉にとどまっているのは少ない。

７月初旬に大雨が降り山間部では土砂崩れ等の被害が多発したがこの公園自体の地形には
変化なく樹木の倒壊も見られない。
それでも春以降の天候異変が長年地中にいたセミに何かしらの影響を及ぼしているのだろうか？